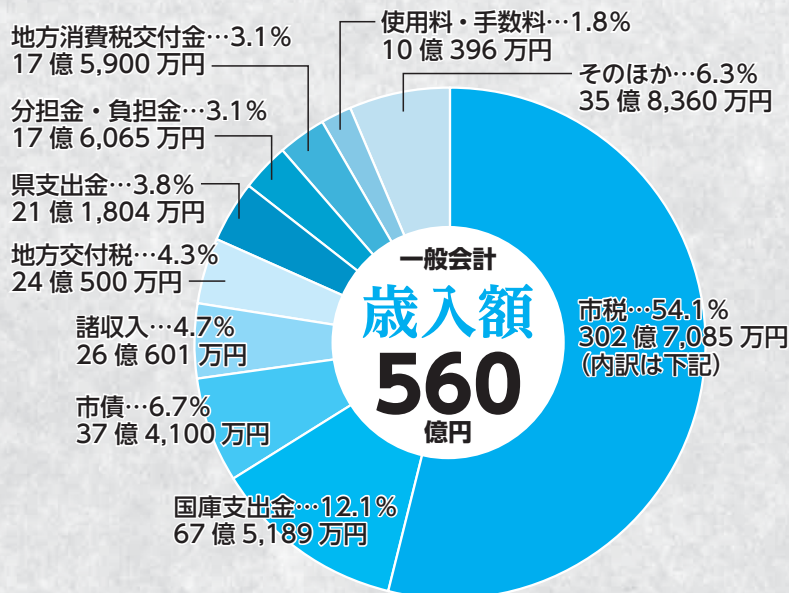


一般会計は

560億円

平成25年度予算案が3月定例市議会で3月21日、可決されました。一般会計は560億円で、前年度と比較すると53億円(8.6%)の減額。特別会計と水道事業会計を合わせた予算総額は817億18万円となり、前年度より33億6,604万円(4.0%)の減額となっています。



歳入

市税(全体の54.1%)は302億7,085万円で、前年度と比較すると5億5,747万円の増収となっています。国庫支出金(同12.1%)は67億5,189万円となり、4億756万円の減額。市債(同6.7%)は37億4,100万円で、35億7,890万円の減額となっています。

市民の皆さんが今年度に納める予定の市税の内訳はイラストが示す通りです。これを市民1人あたりに換算すると約23万1,900円となります(市税予算額(302億7,085万円)÷平成25年2月末日現在人口(13万518人))。

●市税の内訳



法人市民税…………… 29億4,461万円

市たばこ税…………… 12億4,692万円

都市計画税…………… 1億9,562万円

その他(軽自動車税など) …… 2億2,010万円

現在、政府の緊急経済対策などにより、過度の円高が是正される情勢にあり株価も上昇傾向にあるなど、デフレからの脱却と景気回復への期待が高まっていますが、個人消費の動向や雇用情勢などの実情は依然として厳しい状況です。市の財政状況は、健全性を保っているものの、国からの補助金などが削減される傾向にあり、また現在の社会情勢から、税収の増加も期待できない状況です。

生活保護扶助費や公共施設の維持管理費などの増加により、経常収支の悪化が懸念されますが、将来を見据えたまちづくり、空港対策、少子・高齢化対策、地域医療対策、地域経済対策などの課題に積極的に取り組んでいかなければなりません。

平成25年度は、「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」の次世代に誇れる空の港まち、生涯を完結できるまちを目指し、「総合5か年計画2011」における事業計画を着実に遂行し、次世代に過度の負担を掛けないよう、より一層の経費節減を図るとともに、効果的・効果的な予算編成に努めました。

特別会計

222億2,289万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要のあるときに設ける会計です。市では、次の7会計を設けています。

- ①国民健康保険……………131億5,170万円
(事業勘定)……………(129億5,051万円)
被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに対し、必要な保険給付を行います。
(施設勘定)……………(2億119万円)
医療サービスの向上を図るため、国保大栄診療所で被保険者などに対し診療を行います。



地域医療を支える国保大栄診療所

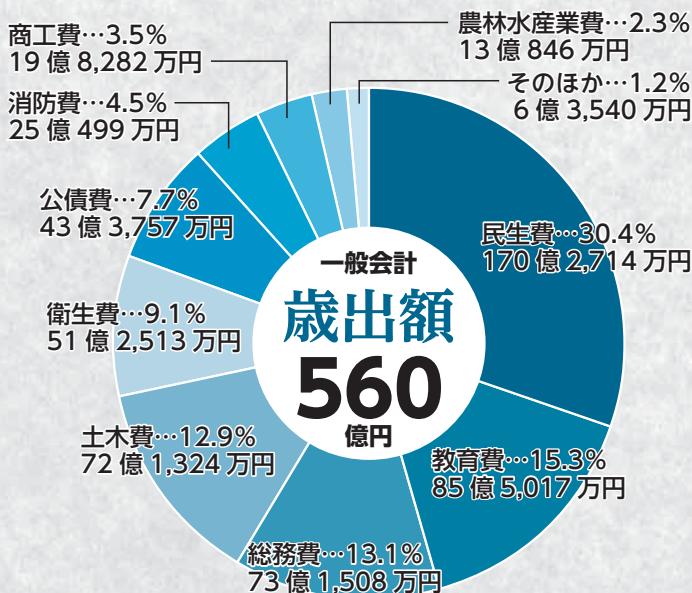
- ②下水道事業……………21億5,486万円
都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ります。
- ③公設地方卸売市場……………2億517万円
青果物、水産物、生鮮食料品などを安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。
- ④介護保険……………53億4,075万円
被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
- ⑤農業集落排水事業……………1億6,504万円
下総・大栄地区の農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。
- ⑥後期高齢者医療……………7億9,550万円
後期高齢者医療制度加入者の保険料徴収や保険証の引き渡しなどを行います。
- ⑦簡易水道事業……………4億987万円
下総・大栄地区に給水する小規模な水道事業です。

地方公営企業会計

34億7,729万円

地方公営企業会計として「水道事業会計」があります。

- 水道事業収益(収益的収入)…19億3,025万円
- 水道事業支出(収益的支出)…18億8,137万円
- 資本的収入……………7億9,944万円
- 資本的支出……………15億9,592万円



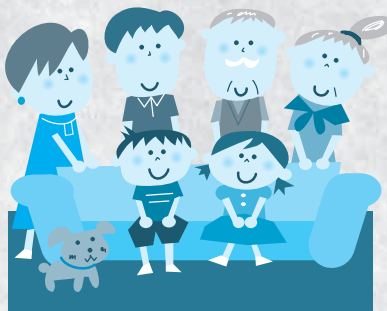
歳出

歳出の目的別分類では、民生費が前年度比12億6,414万円増の170億2,714万円(全体の30.4%)で最も多くなっていて、生活保護扶助費、児童手当支給事業、障害者施設利用支援事業などに充てられます。2番目は教育費で、前年度比9億1,084万円減の85億5,017万円(同15.3%)となっていて、下総小学校建設事業、学校給食事業、図書整備事業などに充てられます。3番目は総務費で、前年度比20億5,078万円減の73億1,508万円(同13.1%)となっていて、民家防音家屋等維持管理費補助事業、庁舎改修事業、公津の杜コミュニティセンター管理運営事業などに充てられます。

市民1人当たり43万円使われます

市民の皆さんに今年度いくら使われる予定かを、イラストで示してみました。市民1人当たり約42万9,100円となります(一般会計当初予算額(560億円)÷平成25年2月末日現在人口(13万518人))。

●市民1人当たりの歳出の内訳



民生費…13万円



教育費…6.6万円

総務費…5.6万円	土木費…5.5万円
衛生費…3.9万円	公債費…3.3万円
消防費…1.9万円	商工費…1.5万円
農林水産業費…1万円	そのほか…0.5万円

の港まちを目指して

市民が地域文化を愛し、次代を担う心豊かな人材を育む

- ・下総小学校建設事業 18億4,192万円
平成26年4月の開校に向けて、下総小学校の建設を行う。
- ・国際文化会館施設整備事業 5,358万円
国際文化会館の維持管理のための改修工事を行う。



イベントでにぎわう国際文化会館

- ・スポーツ広場等整備事業 2億584万円
平成26年度に供用開始予定の公津スポーツ広場の整備を行う。
- ・医科系大学誘致事業 339万円
- ・英語科研究開発事業 1億7,382万円
- ・個性を生かす教育推進事業 1億6,506万円
- ・吾妻小学校増築事業 2億6,866万円
- ・大栄幼稚園管理運営事業 3,548万円
- ・公民館大規模改修事業 3,373万円
- ・図書整備事業 1億2,653万円
- ・運動公園等整備事業 1億7,396万円
- ・学校給食事業 9億9,665万円

市民が安全、安心、快適に暮らせる生活環境をつくる

- ・生活道路整備事業 7億7,527万円
西三里塚大清水線などの生活道路を整備する。
- ・災害復興支援事業 4,948万円
- ・航空機騒音地域補助事業 1億5,706万円
- ・民間防音家屋等維持管理費補助事業 6億5,904万円
- ・八富成田斎場管理運営事業 1億7,024万円
- ・いずみ清掃工場維持管理事業 4億7,547万円
- ・リサイクルプラザ維持管理運営事業 3億2,191万円

- ・ごみ収集事業 5億9,444万円



ごみの再資源化・減量化を推進しています

- ・いずみ清掃工場解体・ストックヤード整備事業 2,223万円
- ・消防車両・装備強化整備事業 1億1,715万円

市民と行政が協働する効率的な自治体運営を行う

- ・公津の杜コミュニティセンター管理運営事業 1億4,374万円
平成25年7月に開館予定の「公津の杜コミュニティセンター」の管理運営を行う。



市民交流の新たな拠点「公津の杜コミュニティセンター」

- ・証明書コンビニ交付事業 2,230万円
住民基本台帳カードを利用し、コンビニエンスストアに設置したマルチコピー機で住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本などの自動交付サービスを開始する。
- ・市制施行60周年記念事業 538万円
市制施行60周年の記念事業やPR活動を行う。
- ・庁舎改修事業 1億7,593万円
- ・市政モニター事業 430万円
- ・男女共同参画センター運営事業 625万円

※予算書は、行政資料室(市役所1階)、市立図書館で閲覧できます。財政課ホームページ(<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/zaisei/>)でも公開しています。くわしくは同課(☎20-1512)へ。

世界との交流拠点として 市民が誇れる都市をつくる

・成田ブランド推進戦略事業 …………… 4,388万円
成田の認知度をさらに向上させるため、空港と地域の魅力を国内外に向けて発信する。



成田の認知度を向上させるために「成田ソラあんばん」を開発・販売

- ・まちづくり政策推進事業 …………… 1,500万円
- ・(仮称)不働ヶ岡土地区画整理事業 …………… 6,700万円
- ・コミュニティバス運行事業 …………… 1億2,202万円
- ・幹線道路整備事業 …………… 4億3,495万円
- ・JR・京成成田駅中央口地区整備事業 …… 22億6,087万円
- ・表参道整備事業 …………… 2億296万円
- ・ニュータウン中央線整備事業 …………… 4億9,760万円
- ・住区基幹公園整備事業 …………… 6,086万円

市民がいきいき働く 活力ある産業を育てる

・プレミアム付商品券発行支援事業 …………… 5,000万円
成田市商店会連合会が実施する「プレミアム付商品券」の発行に対して助成を行い、地域経済の活性化を図る。

・さくらの山観光物産館整備事業 …………… 2億3,587万円
さくらの山に、観光情報・物産コーナーなどを備えた観光物産館の建設を行う。



さくらの山をますます魅力的に

- ・緊急雇用創出事業 …………… 1,073万円
- ・水田農業構造改革対策事業 …………… 1億1,742万円

- ・強い農業づくり支援対策事業 …………… 3,925万円
- ・都市・農村交流促進事業 …………… 8,175万円
- ・農道整備事業 …………… 1億3,143万円
- ・排水路整備事業 …………… 1億5,518万円
- ・中小企業資金融資事業 …………… 10億8,407万円
- ・企業誘致事業 …………… 1億1,914万円
- ・観光PR事業 …………… 4,507万円

市民一人ひとりの健康で 生きがいを持った生活をささえる



1歳6カ月児健診で、手作りおやつアドバイスの様子

- ・(仮称)いきいきプラザ赤坂運営事業 …… 1億5,974万円
老人福祉センター(下方)の老朽化などに伴い、赤坂の商業施設内に移転する。
- ・子育て支援センター管理運営事業 …………… 4,285万円
公津の杜複合施設内に「公津の杜なかよしひろば」を新設する。
- ・保育園整備事業 …………… 4億2,567万円
橋賀台保育園の大規模改修工事を行う。
- ・地域医療対策事業 …………… 2億5,658万円
救急医療体制を維持するため、関係機関に対して負担金を交付する。看護師・准看護師として市内の病院での勤務を希望する学生に対し、修学資金の貸し付けを行う。
- ・福祉手当・見舞金支給事業 …………… 3億6,634万円
- ・障害者施設利用支援事業 …………… 9億43万円
- ・オンデマンド交通高齢者移送サービス事業 …… 7,771万円
- ・児童ホーム整備事業 …………… 3,946万円
- ・子ども医療費助成事業 …………… 4億8,388万円
- ・児童手当支給事業 …………… 22億7,190万円
- ・こども発達支援センター整備事業 …………… 2,180万円
- ・生活保護扶助費 …………… 24億9,508万円
- ・予防接種事業 …………… 4億2,234万円
- ・母子保健事業 …………… 1億8,352万円